

市を売り出そう！物産展に出店



▲会場を盛り上げるサンちゃん(左)、サラちゃん(右)

市や商工会、農協、水交會等で組織される特産物販路拡大・物産展協議會が、10月6日に行われた「西宮酒ぐらルネサンスと食フェア」と10月7日、8日に行われた「大阪あきない祭り2012」に参加しました。同イベントへの



▲「パチエビ」を販売する沼島漁業協同組合(上);西宮酒ぐらルネサンスと食フェア、新鮮な野菜を求め集まった大勢の人たち(下);大阪あきない祭り2012)

参加は今年で3回目となります。玉ねぎを初め、南あわじ市産の新鮮野菜や沼島産の魚介類、乳製品、アイスクリン、地酒、米粉のピンス焼き等を販売したほか、淡路瓦や淡路島の観光のPR、ゆるキャラの舞台イベントに出演しました。今回は、天候にも恵まれ、本協議会ブースには終始多くの人が列を作り、出店者の中には持ってきた商品が完売になるなど、阪神間の消費者の購買力に改めて驚かされたのと共に出店者それぞれの商品に更なる自信を持つ結果につながりました。

災害時における応援協定を締結



▲市内の社会福祉法人の関係者と中田市長

市では、災害が発生したときの避難所確保やライフライン復旧のために市内で活動する事業者と様々な協定を結んでいます。近い将来起きるとされている東南海・南海地震などの大きな災害が発生した時のために、市では44箇所の避難所を確保しています。しかし、障害を持つ人や高齢の人のように介助を必要とする人にとって、通常の避難所での生活は

困難なものです。

そういった人たちが避難できるように市役所中央庁舎で10月11日、市内の4つの社会福祉法人と協定書を締結し、それぞれが管理する特別養護老人ホームを災害時の福祉避難所として指定しました。この日、指定されたのは「緑風館」、「どんぐりの里」、「翁寿園」、「すいせんホーム」、「太陽の家」と市営の「さくら苑」です。

また10月12日には、災害時に電気などのライフラインが寸断した際の応急対策業務への組織的な協力活動を目的として、兵庫県電気工事工業組合淡路支部と協定書を締結しました。



▲協定書に署名する兵庫県電気工事工業組合の有田憲史淡路支部長

映像への思いを熱く語る



▲子供たちに映画づくりについて熱く語る塩屋 俊監督

アジア国際子ども映画祭ブロック大会の表彰式に先駆け西淡公民館で9月29日、映画「Oからの風」の上映会と同映画の塩屋 俊監督を迎えての講演会を開催しました。同映画は飲酒運転による交通事故で息子を亡くした母親が道路交通法の改正に奮闘する実話を映画化したものです。上映後の講演会で塩屋監督は「道路交通法改正に奮闘する母親のニュースを聞き、自分ができることを考えた時に映画を作ることになった。映画の役割は飲酒運転はダメや子どもを思う母親の愛情などの「思いを伝える」ことにある」と話しました。塩屋監督はアジア国際子ども映画祭で映像を制作した子どもたちに「映像で何を作り、何を伝えたいのか。そのためにどのような瞬間を撮りたいのか。ビジョンを持って映像を作ることが大切です」と伝えました。

JAあわじ島が新米を寄贈

南あわじの新米はやっぱりおいしい！



▲森 紘一組合長(左)から中田市長へ目録が手渡されました

JAあわじ島(森紘一組合長)から地元産特選の新米キヌヒカリ405kgが寄贈されて市内小中学校24校の米飯給食(約4600人)で振る舞われました。

寄贈は、子どもたちに農業と食への感心を深め、正しい食生活の習慣をつけてもらう「食農教育」の一環として今年で5年目となるものです。10月4日、広田小学校で森組合長から中田市長へ目録が手渡されたあと、贈られた新米で炊かれた給食を、1年生の教室で児童と一緒に味わいました。児童たちは新米をほおぼり「今日のご飯は特別おいしい」と喜びいっぱいでした。



▲寄贈の新米は市内小中学校の給食で振る舞われました

畜産共進会・食まつり開催

乳牛と和牛、全国に誇る南あわじの畜産



▲共進会で自慢の牛を牽く生産者たち

市畜産共進会が淡路島牧場で9月29日、10月7日に開催され、表彰が行われました。また9月29日には食まつりも開催され、牛乳や野菜などが販売され大勢の人で賑わいました。共進会入賞者一覧(敬称略)

- ◆名誉賞▽未経産ⅡHAIレディースリング ガボアー フラワー(淡路農業技術センター・八木)▽経産Ⅱアリストアドベントスターフタゴ(山田光雄・志知)
- ◆名誉賞Ⅱしずふく(安田成昭・神代)
- ◆最優秀賞Ⅱゆみまる(前川卓也・松帆)、ひらみ(澤内儀一郎・志知)、まるひと(原田健二・倭文)、ふく(福原繁明・津井)、よしふく(中島義晴・広田)、あさみ2(斉藤克己・津井)
- ◆優秀賞▽未経産Ⅱバドジョングサンシー(山口貴士・北阿万)▽経産Ⅱジャルベリーエフ(堤茂樹・賀集)
- 【和牛の部】
- ◆名誉賞Ⅱしずふく(安田成昭・神代)
- ◆最優秀賞Ⅱゆみまる(前川卓也・松帆)、ひらみ(澤内儀一郎・志知)、まるひと(原田健二・倭文)、ふく(福原繁明・津井)、よしふく(中島義晴・広田)、あさみ2(斉藤克己・津井)

和牛のオリンピック出場

清川浩平さん飼育の肥育牛



▲清川浩平さん

5年に一度の和牛のオリンピック「第10回全国和牛能力共進会」に清川浩平さん(広田)の飼育する肥育牛「望号」が県代表として出品されました。全国規模の和牛品評会、通称「全共」に市内から肉牛で

の出品は初めての快挙です。今回の全共は、長崎県で10月25日、29日の開催。審査の結果が和牛のブランド化や評価の向上に大きく影響することから、都道府県の威信をかけた非常に重要な大会として位置づけられています。清川さんは「牛を飼うものにとって全共に参加できることは夢でもあり大変名誉なこと。しっかりと飼育管理して臨みたい」と意気込みを語ってくれました。



▲全国和牛能力共進会へ出品される望号。9月21日撮影